

仕 様 書  
( 気 象 情 報 提 供 契 約 )

北 海 道 警 察

1 適用範囲

この仕様書は、北海道（以下「発注者」という。）が受信する気象情報の提供に係る発注者と契約の相手方（以下「受注者」という。）の契約履行について必要事項を定めるものである。

2 契約名

気象情報提供契約

3 契約期間

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

4 一般事項

本契約は発注者が別途調達している気象情報表示端末機（以下「端末機」という。）でインターネット通信回線（以下「回線」という。）により気象情報の提供を受けるものである。

5 気象情報

気象情報とは、航空気象情報、防災気象情報及び防災情報をいう。

6 回線

受注者は、以下に示す回線を敷設すること。

- (1) 回線は、光ファイバーを使用して最大100Mbps以上（回線A）及びモバイルデータ通信（USB型）又は有線を使用した最大10Mbps以上（回線B）の通信速度（下り）性能を有するインターネット通信回線であること。
- (2) 回線の敷設には、通信事業者の保有する光通信設備からの配線並びに回線終端装置、ルーター（一体型を含む）及び接続用ケーブル（以下、「各機器」という。）の設置及び接続を含み、発注者が保有する端末機にて気象情報が表示できること。
- (3) 回線使用料には、プロバイダへの接続料、各機器の使用料等、インターネットへ接続するために必要な費用を含むものとする。
- (4) 各機器は総合指揮室、航空隊及び帯広分遣隊の発注者が指定する場所へ設置すること。
- (5) 各機器の電源は発注者が指定するコンセントから供給を受けること。
- (6) 回線に不具合等が生じ情報が提供できなくなった場合、速やかに対処すること。
- (7) 回線Aにあっては回線終端装置（ルーターを含む）までの接続、回線Bにあってはモバイルデータ通信（USB型）又は有線を使用しての端末機までの接続を受注者の責任とし、そこから接続されている機器類を発注者の責任とする。
- (8) 上記の導入に係る全ての費用は本調達に含むものとする。

7 回線の拠点

(1) 回線A

構成	拠点
光ファイバー	総合指揮室
	航空隊

(2) 回線B

構成	拠点
モバイルデータ通信（USB型） 又は有線	帯広分遣隊

※ 北海道防災航空室にあっては、既設回線を利用するため気象情報提供のみ

8 気象情報の受信拠点及び機能

受注者は、以下に示す気象情報を提供すること。

- (1) 気象情報を受信する拠点、数量並びに受信装置の形状及び表示方式は表-1のとおりとする。

表－1 受信拠点、数量並びに受信装置の形状及び表示方式

拠点名	数量	受信する情報の種別	受信装置(別途調達)	住所
			形状及び表示方式	
警備課	1	防災気象情報 防災情報	ノート型PC シングルディスプレイ	札幌市中央区北2条西7丁目
総合指揮室	1	防災気象情報 防災情報	ノート型PC ミラーリングディスプレイ	〃
航空隊	1	航空気象情報 防災気象情報 防災情報	デスクトップ型PC デュアルディスプレイ	札幌市東区栄町964番地
帯広分遣隊	1	航空気象情報 防災気象情報 防災情報	デスクトップ型PC デュアルディスプレイ	帯広市泉町西8線中9番11
北海道 防災航空室	1	航空気象情報 防災気象情報 防災情報	デスクトップ型PC デュアルディスプレイ	札幌市東区栄町964番地

(2) 気象情報は、発注者が提供する端末機で受信できること。

(3) 気象情報の種別、名称及び機能は表－2のとおりとする。

表－2 気象情報の種別、名称及び機能

種別	名称	機能
基本機能	表示	取扱者の操作により任意の情報を表示できること。
	印刷	各機能で表示する情報はモノクロ及びカラーで印刷できること。
	ベースマップ	・縮尺は25,000分の1以上の日本全国地図であること。 ・地図の拡大及び縮小が任意にできること。
航空気象情報	天気図	地上及び高層等の実況天気図及び予想天気図を表示できること。
	METER SPECI SCAN	全国で観測したMETER、SPECI及びSCANを地域別に一覧表示可能であり、有視界気象状態、計器気象状態及び任意に定めた閾値に合わせて色分けして表示できること。
	ウインド プロファイラ	各観測地点の上空における風速の鉛直分布に関する実況情報を表示できること。
	SYNOP	全国の各観測地点における気象状態を表示できること。
	ライブカメラ 映像	道内及び全国の主要道路及び峠等に設置されているライブカメラの撮影映像を安定的に視聴できること。 設置されているライブカメラは、航空機が当該箇所を通過するために必要な空間(雲)の状況を確認できること。また、撮影映像は概ね1分間隔で更新されること。
	TAF	TAFを地域別に一覧表示できること。
	有視界飛行 可否予測	空港実況値及びSYNOPの実況解析値を予測に取り込んだ視程と雲底の面的予想から有視界気象状態、計器気象状態についてエリア別に色分けし、ベースマップ上に重ね合わせ、6時間以上先まで時間ごとの推移状況を表示できること。
	高度時間別 断面予想図	予測する国内の全空港等、全国主要峠における気温分布、湿域、風向風速、大気安定度等の大気情報が縦軸を高度、横軸を時間としたグラフ形式で24時間以上先まで表示できること。
	任意飛行経路 空間断面図及	ベースマップ上で選択した任意の飛行経路について、経路の断面図、各高度帯の風向、風速、気温の分布、

	び雲頂高度	雲底高度、雲頂高度等の予想情報を表示できること。
	全国空港及び 峠等の短期予 報	予測する国内の全空港や全国主要峠などの任意地点 における天気、風向、風速、視程、雲底高度、地上の 気温等の情報を地点別に24時間以上先まで時間ごと の推移状況を3時間ごとに表示できること。
	気象レーダー	気象レーダーによる雨雲の分布状況をベースマップ上 に重ね合わせて時間ごとの推移状況を表示できること。
	降水域、地上 風推移予測	予測する降水域並びに地上の風向及び風速の推移状 態を15時間以上先まで時間ごとにベースマップ上に重 ね合わせて表示できること。
	気象衛星画像	気象衛星ひまわり8号で撮影した雲の分布状態をベー スマップ上に重ね合わせて又は別ウインドウで表示し、 時間ごとの推移状況を表示できること。
	予報の解説	予測する短期天気予報及び週間天気予報の解説を表 示できること。
	気象コンサル ティング	航空気象担当者による気象コンサルティングが24時間 365日可能であること。
	日の出、日の 入り情報	任意地点における日の出・日の入りに関する情報を表 示できること。
	送電線情報	電力会社等が設置した送電線の位置をベースマップ 上に表示できること。
	航空参考図	航空図に記載されている主要な情報(管制圏、航空路 等)をベースマップ上に表示できること。
	緯度経度情報	ベースマップ上に緯度及び経度を表示できること。
	寒気流入予測	上空における寒気流入の予測情報を表示できること。
	雷情報	雷に関する実況及び予測情報を表示できること。
防災気象情報	雨雲レーダー	24時間前から目先30時間先までの雨雲の動きが確認 できる。
	実況観測情 報(雨量、水 位)	雨量、水位の観測情報について地図形式、一覧形 式、グラフ形式で確認できる。
	拠点毎詳細天 気情報(72時 間先1時間毎 の天気、降水 量、気温、風 向、風速)	任意に設定された地点に対して1kmメッシュのピン ポイント予測(天気、降水量、気温、風向、風速) が確認できる。
	積算降水量(2 4時間前から7 2時間後1時間 毎の積算降水 量)	24時間前から目先72時間先までの積算降水量予測が 確認でき、地点ごとにリスクがある際には注意・警 戒等のリスクを示すことができる。
	台風進路・暴 風域予測	独自進路予測に加え、気象庁、各国気象機関の進路 予測モデルを確認できる。任意に設定された地点ご とに、暴風域・強風域に入る時間帯等を確認できる。
	線状降水帯・ 豪雨リスク予 測	気象庁が発表する解析情報に加え、独自の実況解析、 目先12時間先までの予測情報を確認できる。
	危険度分布 (キキクル)	気象庁が発表する土砂災害、浸水害、洪水の危険度 分布情報を確認できる。
	ライブカメラ	ライブカメラの設置地点について、カメラの映像が 地図上、一覧画面で確認できる。よく確認する地点 については、お気に入り地点の登録ができる。

停電リスク予測	任意に設定された地点ごとに、風の影響により停電のリスクがある際に、注意・警戒等のリスクを確認できる。	
落雷リスクモニタリング	目先2時間30分先までの落雷の危険度予測を確認できる。また、任意に設定された地点ごとに、いつまで落雷に警戒するべきかを確認できる。	
熱中症危険度（夏期のみ）	任意に設定された地点ごとに、目先72時間先までの熱中症危険度、暑さ指数予測を地図、時系列グラフで確認できる。	
体制判断情報（5エリアまで）	警察本部の管轄区域等、任意に設定されたエリアごとに大雨、強風における災害リスクを、事前に決定した基準値に応じて5段階のレベル指標で目先72時間先まで提供できる。また、独自の予測と気象庁の注意報・警報、早期注意情報の発表状況が比較できる。雨量予測については、確からしい予測に加えて、上振れした場合のブレ幅も含めて確認できる。	
報告書作成支援（過去データ提供）	雨量、水位の過去の観測情報の検索、ダウンロードができる。	
土壌雨量・表面雨量指数	気象庁の発表する土壌雨量指数、表面雨量指数について、地図上での確認、また任意で設定された地点における推移を確認できる。また、地点ごとに設定された注意報、警報等の発表基準と比較し、切迫度を確認できる。	
雨雪レーダー（冬期のみ）	24時間前から目先30時間先までの雨雲、雪雲の動きが確認できる。	
積雪予測（大雪リスク）（冬期のみ）	任意に設定された地点ごとに、目先72時間先までの積雪深の予測と危険度判定を確認できる。	
道路通行影響予測（大雪）（冬期のみ）	大雪により道路の通行影響がある場合に、その危険度を確認できる。	
写真&動画レポート	荒天時等に現場の状況を把握するための参考情報として、住民等より寄せられた天気報告、被害報告等が確認できる。	
防災情報	地震情報	各地で観測された地震の強さ（震度）を地図形式で表示でき、地震規模及び震源に関する情報を表示及び発令を注意喚起音等により通知できること。
	津波情報	津波注意報、津波警報、大津波警報を表示及び発令を注意喚起音等により通知できること。
	火山情報	火山の噴火警報、予報を表示及び発令を注意喚起音等により通知できること。
	雷情報	落雷に関する実況及び予測情報を表示できること。
	土砂災害警戒情報	土砂災害警戒に関する情報を表示できること。
	防災解説情報	防災に関する解説情報を表示できること。

## 9 提出物

受注者は、気象情報提供に関する取扱説明書を表-1の拠点に各2部（予備1部を含む）用意すること。

## 10 操作説明

- (1) 操作説明会の実施日及び説明資料等は、北海道警察本部担当者と調整の上決定することとする。
- (2) 操作説明会で使用する資料は受注者が用意すること。
- (3) 操作説明会を行う場所は、以下のとおりとする。
  - ・ 総合指揮室 1回
  - ・ 航空隊本隊及び北海道防災航空室 1回
  - ・ 帯広分遣隊 1回
- (4) 1回の操作説明会は概ね1時間以内程度とすること。
- (5) 操作説明会に使用する機器は、発注者が用意する端末機を使用すること。

#### 11 サプライチェーン・リスク対策

- (1) 本仕様書で調達するハードウェアの候補となる機器等については、あらかじめ発注者に納入予定機器等リストを提出し、発注者がサプライチェーン・リスクに係る懸念が払拭されないと判断した場合には、発注者と迅速かつ密接に連携し、代替品選定等を行うこと。
- (2) 本仕様書で調達するハードウェアについて、不正な変更（機器等の製造工程、流通過程で不正プログラムを含む予期しない又は好ましくない特性を組み込むことをいう。）が疑われると発注者が判断した場合は、受注者において調査及び必要な措置を講じること。

#### 12 留意事項

- (1) 本契約に関連して知り得た相手方の技術上及び業務上の機密を、本契約の存続期間中はもとより本契約終了後といえども第三者に漏らしてはならないものとする。
- (2) 受注者は、本契約の履行に支障が生じたもしくは支障が生じるおそれのある事故の発生を認知したときは、その事故の帰責の如何に関わらず直ちにその旨を発注者に報告し、発注者の指示を受けなければならない。
- (3) 本仕様書に定めない事項及び疑義の生じた事項については、その都度両者が協議し、適切に業務を遂行するものとする。